

「ディアスポラ紀行」(徐京植著)を読む

新野祐子

春鮒となりて轍わだちを脱すなり

投身という抗議あり大西日

うねりつつオペラに溺る十二月

烈士の墓草蓬蓬と光州は

いのち削り刻みし活字草の花

嗅覚を試す映像夏の空

コロニーより来たる模様のサンドレス

指紋押捺の替りのカード汗ばみて

どこも異郷鳩色の雪降りつづく

はてしなき苦難の痕よ蝶の舌